|  |
| --- |
| 整理番号欄  （記載不要） |
|  |

**職　務　経　歴　書**

氏　名

（作成日：令和　　　年　　　月　　　日）

ダイジェスト版（**Ａ４・１枚以内・１１ポイント以上**）

1. 最終学歴（○で囲んでください。）

　　学士　　修士　　博士　　その他　（　　　　　　　　　　　　　）

２．経験年数　　これまでの下記３．における職務経験、及び、下記４．における大学院の履修期間の年数を記載してください。

※令和８年４月１日時点における見込みの年数を記載してください。

(a) 職務経験：　通算　　年　　ヶ月

(b) 大学院履修期間：　通算　　年　　ヶ月

(a)+(b) 計：　　　　　年　　ヶ月

３．職務経験

（１）これまでに経験した職務のうち、①法律事務所・特許事務所における職務、②民間企業等における法務一般に関する職務について記載してください（具体的にどのような業務に関わっていたのかについて簡潔に記載のこと。担当時期及び当時の所属も記載のこと。）。

　　　　　　年　　月～　　　年　　月：

　　　　　　年　　月～　　　年　　月：

　　　　　　年　　月～　　　年　　月：

　　　　　　年　　月～　　　年　　月：

（２）弁護士・弁理士として業務に従事した期間について記載してください（企業・事務所名及び業務内容を簡潔に記載のこと）

　　　　　　年　　月～　　　年　　月：

　　　　　　年　　月～　　　年　　月：

４．大学院履修期間

大学院（修士・博士課程）の履修期間・研究内容を記載してください。

※大学院に進学実績がある方のみ記載

　　　　　　年　　月～　　　年　　月：

　　　　　　年　　月～　　　年　　月：

５．主要取得資格

年　　月：

　　　　　　年　　月：

詳細版

| 年 | 月 | 学歴、職歴、経歴、業績、資格取得等 |
| --- | --- | --- |
| （和暦）  　　　年 | 月 | （必要により欄が次ページにまたがっても構いませんので、可能な限り分かり易く具体的に記載してください。  ダイジェスト版に記載しなかったことも含めて記載してください。最終合格後、本職務経歴書に記載された学歴、職歴、業績等を証明するための資料を御提出いただくことになります。） |
|  |  |  |

詳細版（次ページ）※必要に応じて（枚数を増やして）使用ください。

| 年 | 月 | 学歴、職歴、経歴、業績、資格取得等 |
| --- | --- | --- |
| （和暦）  　　　年 | 月 |  |
|  |  |  |